

那覇西ロータリークラブ

国際ローター 2580 地区

創立 1962 年 6 月 4 日

2020年11月18日

週報 第2614号

プログラム案内

2020-21年度テーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」
(Rotary Opens Opportunities)



Rotary 2580地区 By RI会長エレクト ホルガー・クナー

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を
深めるか
4. みんなの為に
なるかどうか

例会報告

第2730回 (2020年11月11日)

出席報告

会員数	出席数	欠席数	出席率	前々回 訂正出席率
56名	38名	15名	72%	74%

欠席会員

高田、上原、大城(博)、儀部、福重、照屋(義)
久保、渡慶次、三浦、丸橋、平尾、龍、水城、
比嘉(良)、ジョンソン会員

ニコニコBOX

合計¥7,000 累計¥179,000

石川正一 令和2年度 納税表彰で財務大臣表彰を受彰しました。

大城純市 石川正一パストガバナーが全国私学振興会から令和2年度功労者表彰並びに財務大臣長彰を受彰されました。誠にありがとうございます。

コンダクター (堀井会員)



会長 大城純市 副会長：慶佐次 操・大庭 憲
幹事：城間 一

例会日 毎週水曜日 12時30分

例会場 沖縄ハーバービューホテル

事務局 那覇市松山1-1-14 那覇共同ビル6階

TEL：861-7824 FAX：861-7825



■ 会長報告



来年の台北国際大会への登録、および4月地区研修会の案内をお知らせボードに掲載していますので、是非見ていただきたい。先週の名幸会員の叙勲に引き続きおめでたい話です。石川会員が全国私学振興会連合会の令和2年度功労者表彰を受けられました。加えて、北那覇法人会の会長を長く勤められ、その功績から今般財務大臣表彰も受けられました。誠にありがとうございます。ロータリアンとしてのみならず様々な分野でご活躍されています。コロナの中で他のRCは休会しているところもありますが、感染に十分留意しつつ、健康最優先で例会を活発に運営していきます。その中でWEB活用も具体化していきたいが、国際大会こそWEBでの交流をスタートすれば、これまでと違う新しい交流の仕方も見えてくるのではないかと思います。我々自身の変化をして新しいロータリーライフを楽しんでいくというのが必要ではないかと感じていますので、また理事会で議論して検討していきます。

■ 幹事報告



各ロータリークラブ休会・例会変更のお知らせ

○那覇ロータリークラブ

11月24日 休会

「全地域にわたる流行病もしくは災害が発生した場合」定款第7条第1節d項

○那覇東ロータリークラブ

11月26日(木) 休会

(定款第7条第1節d項(1)による)

例会変更

日時：2020年12月3日(木) 12:30

場所：ホテルコレクティブ2階 中宴会場

(那覇市松尾2-5-7 ☎860-8252)

ビジター費：2,500円

那覇西RCの12月夜間例会は予定通り開催予定。東京での地区研修は会長や職業奉仕委員長とも相談しながら出席をどうするか決めます。来年4月の地区大会案内をお送りしていますが、沖縄から現地参加が問題ないか確認中であり申込はもうしばらくお待ち下さい。那覇RCがZOOM開催を実施したら費用60万とのこと。ただ感染防止は避けて通れないので今後理事会でも意見を聞きながら検討進めたい。うれしい報告として会長報告に付け加え、秋の黄綬褒章を鹿児島中央RCの本坊会員が受賞されたのでご報告します。

■ テーブルスピーチ



○石垣会員(コロナでリモート会議急増)

○慶佐次会員(ウフアガリ島の歴史と生活)

■ 卓話(米山奨学基金について)



ロータリー米山記念奨学事業の豆辞典を本日テーブルにお配りしているが、毎年10月の米山月間に配布しています。皆様にも深い関わりがあり毎年5千円の寄付を頂くとともに特別寄付も10万円単位で頂ければ米山功労者となります。分割寄付も可能です。本日は2017年に50周年となり、記念事業として作成したビデオをご覧ください。変遷やいきさつ、設立の精神などが非常にコンパクトにまとめられています。

『世界へ届け 米山の懸け橋』

1. プロローグ
2. 米山梅吉翁と米山記念奨学会の設立
3. 米山記念奨学事業の概要
4. 広がる学友との絆
5. 次世代を担う米山学友の活躍
6. エピローグ

今、年間800名余の奨学生を輩出しています。当2580地区にも奨学生が40名くらい割り当てられています。その中で沖縄は3名選抜しますが、全国600の大学から候補者があがり、これをロータリークラブで選考します。現在は那覇・那覇南・宜野湾の3クラブでオーストラリア・パキスタン・韓国の方にそれぞれカウンセラーが付き、奨学生のサポートを行っています。那覇西も50周年の時に中国の方を大城純一会長にカウンセラーをして頂きました。今はコロナ禍で母国から日本に戻れない方もいますが、オンラインで例会に参加したりこれまで通り活動をしています。選考は書面だけでなく面接やグループディスカッションなどで行っており、琉大などで基本2年間奨学生として活動し延長も実施しています。この豆辞典は毎年更新されるし、ロータリーの友にも毎年掲載していますので是非読んでください。そして、この奨学金の歴史は長く、過去の奨学生が国に帰り様々な分野で活躍しています。